

令和2年度「情報通信月間」東北総合通信局長表彰

【団体】

(敬称略:五十音順)

被表彰団体	主な功績
岩手県ふるさと振興部 科学・情報政策室 (室長 古館 慶之)	東日本大震災の被災地域において、被災自治体や関係機関と連携を図り、住民の生活の再建に必要な情報通信基盤の整備・復旧に尽力するなど、ICTを活用した創造的な復興の推進に多大な貢献をされました。
山形県酒田市 (市長 丸山 至)	外国人旅行者を含む観光客の回遊性向上と観光情報の効果的な発信のために観光クラウドを活用した情報支援体制の整備を行い、「地域IoT実装推進ロードマップ」における分野別成功モデルの普及展開を図るなど、地域情報化の推進に多大な貢献をされました。
一般社団法人東北映像製作社協会 (理事長 後藤 吉郎)	多年にわたり「東北映像フェスティバル」を開催し、東北地域のクリエイターの育成や作品発表の機会の提供など、地域における映像産業の振興に多大な貢献をされました。
福島県企画調整部情報政策課 (課長 大原 和弘)	東日本大震災の被災地域において、被災自治体や関係機関と連携を図り、住民の帰還促進や生活の再建に必要な情報通信基盤の整備・復旧に尽力するなど、ICTを活用した創造的な復興の推進に多大な貢献をされました。
株式会社福島中央テレビ (代表取締役社長 河田 卓司)	東北地域の魅力を海外に発信するため、弊局の動画サイトの立上げに当たって素材を多数提供するとともに、放送コンテンツの海外展開にも積極的に取り組むなど、東北地域へのインバウンド増加に多大な貢献をされました。
宮城県震災復興・企画部情報政策課 (課長 高橋 寿久)	東日本大震災の被災地域において、被災自治体や関係機関と連携を図り、住民の生活の再建に必要な情報通信基盤の整備・復旧に尽力するなど、ICTを活用した創造的な復興の推進に多大な貢献をされました。